

# 未来平和のための科学技術

Tran Thanh Loan(ツラン タン ロアン)

(立命館アジア太平洋大学国際経営学部)

## 要約

私は平和と反平和についての平和と科学技術の利用というテーマをたてて論じていきたいと思います。反平和的とは例えば戦争やテロリズムなどです。この論文で私は反平和的に使われている科学技術利用について主要な例をいくつか挙げます。もし科学技術が適切に使用されれば、それは平和構築をする上で効果的なツールとなるでしょう。

長期間に及ぶ戦争の歴史を経験しているベトナム市民として、私は戦争が我々人類にもたらしてきた多くの損失に我慢してきました。そして今、私は日本で、平和の未来と人類のためによりよい生活のために声をあげる機会を手にしたので、科学技術と平和について論述していきたいと思う。ノーベル平和賞を受賞したダライ・ラマによると、「平和は、人権が尊重され、人々が飢えず、個人と国家が自由な場所でのみ実現されるのです。」私は、彼の考えに全くの同感である。平和は人間が食料、きれいな水、教育、避難所などのこのような基本的なニーズへの公平かつ平等にアクセスするために存在する。人々が暴力からの恐怖と脅威にさらされることなく、平和に人々が生活している時に、性差別、宗教、アイデンティティの側面に関係なしに、政治と政策決定にかたどられることなく、生計をたてることができる時に存在する。しかしながら、私を含めた多くの人々が平和に生活することが出来、安全かつ幸せに生活し、学校に通い、友達に会い、家族に会い、休暇中に旅行をしているにも関わらず、地球のどこかで、基本的な生活基盤も無い状況で爆弾や銃の恐怖におびえながら生き抜いていかなければならない人々もいる。そしてその人々は “明日もまた生き抜いていられるのだろうか？” と脅えながら暮らすのである。

BBC の報道による “何の武器がイスラエルーガザの内戦で使用されているのか？” では今のところイスラエルとガザ地区のパレスチナ過激派は、数ヶ月の間に強烈な暴力の一部分をもたらしている。過激派はイスラエルとガザにむけてロケットの一斉放射に火をつけ、イスラエルとガザは空爆の波に見舞われている。これらロケットは、深い知識産業の1つであり、人々は高い技術と科学的方法でこれらを生産しています。まず最初に、パレスチナグループは人口集中都市テルアビブやイェルサレムなどの範囲75キロメートルに到達することが出来る基本的なロケットの武器を構築したソ連時代の技術を利用した。イスラエルの観点から、民間人を守るためにミサイルを発見し壊すことの出来るイスラエルの防御システム、アイアンドームを利用した。2014年7月8日のBBCの報道によるとこの内戦の初期からという「ガザの国連避難所攻撃にホワイトハウスは完全に容認することができない」という。ガザの保

健省によって明らかになっている数字だが、1,422 人のパレスチナ人が死亡し 8,625 人のパレスチナ人が怪我をしている。58 人のイスラエル人が死亡している。なおその上に、この内戦では人々が内戦に勝利するための手助けの道具としてメディアを活用している。BBC で話題になっている攻撃を受けているガザのイメージができますか？ 灯というトピックによると、人々は Facebook、YouTube、WhatsApp を使いガザでの戦争についての情報と写真を投稿しているが、しかしながらこれらの情報源がチェックされることはない。人々はガザについての写真を投稿するが、しかし実際はそれらの動画の中の写真はガザのものではなくシリアとイラクのものについてである。これらから分かるように、間違いなく技術と科学が現在平和のための個人の利益に反するための道具として使用されているのである。

さらに、今年私は長崎ピースツアーのリーダーを勤め、私の大学で開催されている京都ピースツアーに参加する機会もあった。私は長崎と広島に投下された原子爆弾についての出来事を学ぶ事が出来た。1945 年、アメリカは自らが生産した高い科学技術を持った原子爆弾の強さがどれくらいかを試そうとした。そして、その原子爆弾は日本に投下されたのである。アメリカは 2 つの原子爆弾を長崎と広島にそれぞれ投下し、長崎で 75,000 人と広島で 150,000 人がそれぞれ犠牲になった。犠牲者の数に差があるのは、それぞれの地域と人口の差が関係しているのである。私は長崎の原爆投下を経験した生存者、広瀬まさひとさんの話を聞く機会があった。彼の母親と兄弟と彼自身は幸いにも 8 月 9 日原爆が投下された日に長崎にいなかったで、生き延びることができた。しかし彼の父親、近所の方々、友達に直接被爆したり焼け死んだりして亡くなった。町は全壊し、何一つ残ってはおらず、生き延びた人々はそこから再び自分たちの生活をはじめなくてはならなかった。食べ物の不足、家もなくなり、家族も失った中で彼らは生き延びるために必死にもがいていた。これらはどのように人々が誤って科学技術を使用しているかの 1 つの例である。私の考えでは、人間によって生産されるものは、決して人々の生活を破壊するため、人々の命を奪うために存在すべきではない。科学技術を彼らの利益を増やすためだけに利用し、彼らは他の人々が安全に生活できるようになど考えたり、思いめぐらしたりすることはない。彼らは平和に暮らしている人々の生活環境を破壊し、それを引き裂いていくのである。人間によって生産されるもの、すなわち科学技術は人々が幸せに安全により良く生活するため、平和構築に貢献するため、人類の生活を向上させるための手段として提供するために存在すべきである。

一方で、平和構築を目指し、平和な世界を構築することを目標に活動することを目標に結成された団体もたくさんある。その 1 つが Science for Peace (平和のための科学) である。冷戦時代に設立され、そのメンバーは彼らの知識を国政を変え情報を提供することに利用している。Science for Peace のメンバー達は核兵器廃絶、核戦争を防止し、軍事経済を変えるために努めている。Science for Peace のメンバー達は平和のために大切な公共の問題を討論するためのたくさんのミーティング、フォーラムズ、ワークショップを企画し運営している。Science for Peace の核時代の難問: 2013 年の冬レクチャーシリーズによると、Science for Peace は「核時代と立ち向かう」と題してこのようなセッションを 10 つも毎年開催している。このイベントは原子力発電の分野の教授や科学者に人間の健康と科学が依存し合っ

ているメリットやさまざまな科学技術オプションが生物圏にもたらす危険性について参加者と討論をする場を与えた。さらに、彼らは核兵器の歴史や核戦争の脅威を除外するための反対運動への努力、福島震災についてなども討論した。アルバートアインシュタインによると、平和は強制で維持することはできません。理解し合うことで達成することが出来る。それに加えて、教育、食べ物、きれいな水、幸せに暮らすこと、安全性の不足を心配することなく人類が生活をできるように科学技術をより有効に活用するために、Science for Peaceは技術に関する問題について国民の問題意識を高めるために全ての力を引き出そうとしている。科学技術はそれらの問題に対しての解決策を見いだそうとしている。Facebook と BBC や CNN などのオンライン新聞は、私が平和で幸せな環境で生きているという事実にもかかわらず、ガザやイスラエルなど多くの子どもたちや人々が暗い時間を過ごしているなど、現在自分が生活している場所の他の地域で何が起きているのかを知る上で非常に役に立つものである。それに加えて、これらは、私が平和の価値についての詳細を理解することにも役立ち、私に人間のよりよい生活のために何かをする必要があることに気づかせてくれる。科学技術は、情報がより速く人々に送り届けられることを助け、人々がつながりを持つことも助け、そして彼らは科学技術のおかげで、世界平和のための声を上げることができ、自分たちの意見を発信し、それを共有出来るのである。

加えて、何十年もの間続いた長い戦争の歴史を持っているベトナムで私は生まれ育った。私の家族と私は多くの損失に我慢し続けてきた。アメリカとの戦争中、アメリカは戦争を早めに切り上げ、できるだけ早く勝たかった。彼らは、戦車、飛行機、銃、爆弾などの現代の機械を利用した。アメリカがそのような近代的な技術を使用していたが、その当時ベトナムの科学技術は発達してなかった。アメリカは飛行機や銃、爆弾を使用していたが、そのほとんどが他の国から支援され輸入されてきたものであった。ベトナム軍は通常、夜中に森の中で働かなくてはならなかった。そして、彼らは木の中に彼らの身をアメリカ軍から隠し、ベトナム軍はその森の中に食料と避難所を持っていた。アメリカ軍はこのことについて知っており、森を破壊した。それだけでなく彼らは一時間で森全体を崩壊することの出来る他の方法を思いついた。その方法はオレンジ剤であり、これはまた科学技術が産んだものである。オレンジ剤という枯葉の強力な混合物は、化学的なダイオキシンを含んでおり一般的に除草剤の混合物を使用し、最も効果的であった。これは、後にもたらされる深刻な健康問題の原因であることが明らかになった。腫瘍、先天性欠損症、発疹、心理的症状および癌など、これらの被害にあったのはベトナムの住民の間だけでなく、米国の軍人とその家族もである。アメリカ軍は1961年から1972年にかけてベトナムの土地450万エーカー以上に1900万ガロンを噴霧するランチハンド作戦という軍事作戦を実施した。米国の航空機は、敵軍を供給するために使用されるかもしれない作物道路だけでなく、河川、運河や軍事基地の周りにも強力な混合物である除草剤をまいた。除草剤のおかげで、南ベトナムの民間人である農民によって使用される農作物や水源も大きな打撃を受けた。ベトナムで米国の落葉プログラムの大規模な環境への影響に加えて、エージェント・オレンジのような除草剤をまいた結果として、ベトナムは40万人が死亡または被害を受けたと報告されている。これに加えて、ベトナムは

200 万人が枯葉剤の影響で発祥した癌やその他の病気に苦しんでいるのと同時に、50 万人の子供たちが、深刻な先天性欠損症を持って生まれてきたと主張している。

またなお、技術の発展のおかげで人類は Facebook や Twitter、YouTube そして BBC や CNN などのメディアに簡単にアクセス出来るようになった。それらのメディアのおかげで、私たちは今世界で一体何が起きているのか、内戦がどこで起きているかなどの情報を簡単に獲得することが出来、人間が犠牲者そして将来の平和のために立ち上がるために声をあげようとしている。

結論として、科学技術がたくさん理由で現在悪用されている。それらは平和目的に何かを果たすのではなく戦争と紛争のために活用されている。私は、科学が核戦争を無くすために平和構築のために利用されること、そしてこの世界から核がなくなることを強く願っている。

## 文献

「AGENT ORANGE」

<<http://www.history.com/topics/vietnam-war/agent-orange>>

(2014/08/07 アクセス)

「BBCtrending: Are GazaUnderAttack images accurate?」

<<http://www.bbc.com/news/magazine-28198163>>

(2014/08/01 アクセス)

「Confronting a Nuclear Age: Winter 2013 Lecture Series」

<<http://www.scienceforpeace.ca/confronting-a-nuclear-age-winter-2013-lecture-series>

>

(2014/08/01 アクセス)

「Hiroshima and Nagasaki Death toll」

<<http://www.aasc.ucla.edu/cab/200708230009.html>>

(2014/08/01 アクセス)

「Gaza UN shelter attack ‘totally unacceptable’ - white house」

<<http://www.bbc.com/news/world-middle-east-28594155>>

(2014/08/01 アクセス)

「What weapons are being used in the Israel-Gaza conflict」

<<http://www.bbc.com/news/world-middle-east-28245343#>>

(2014/ 08/01 アクセス)